

## 親子のふれあい

9月7日、公立保育園連合会の親子行事「手づくりおもちゃで遊ぼう」が、かつやま恐竜の森で開催されました。紙と糸、ストローで「八角たこ」を作り、早速、お父さんといっしょに飛ばしてみました。結果は…。



CONTENTS  
**特集勝ち山夏物語**  
**市役所庁舎改修のお知らせ**  
**平成20年度勝山市表彰式**  
**出会いふれあい**

## 歴史の散歩道

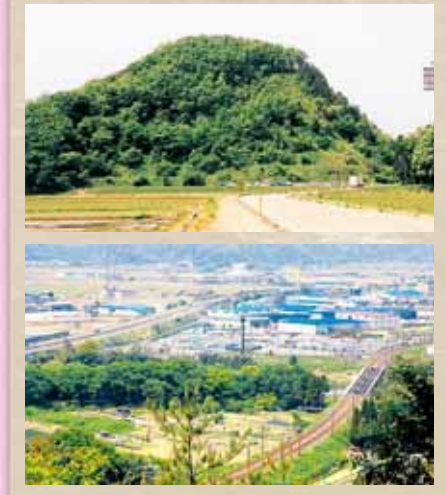
(93)

### 宝光院・玉泉坊が合戦した丁野城

丁野城は浅井長政の小谷城の西方1kmのところにあった。今の滋賀県湖北町丁野である。天正元年(一五七三)八月浅井長政の援軍の要請に応じ、朝倉義景の出陣命令に従って平泉寺の衆徒は出陣した。大野郡司の朝倉景鏡は義景の意に反して出陣を断ったが、義景とのよしみからの出陣で、小谷城に近い丁野城に立て籠もった。

丁野城跡は丁野山城跡ともよばれ、麓からの高さは約六六mほどであり、山頂は二〇四方の平地で、周囲には深い空堀がめぐらされ、植生はコナラの林である。

この城に立て籠もった衆徒は城をあけ、命拾いをして平泉寺に帰陣した。このことは、①『朝倉始末記』(史籍集覧)によれば「丁野ノ城番手二八中島宗左衛門平泉寺宝光院……(中略)……僧を宝光院へ」、②『越州軍記』(続群書類従)によれば、「丁野ノ番手二八、平泉寺玉泉坊宝光院……(中略)……陣僧ヲ玉泉坊へ」、③『信長公記』によれば、「よつ山の山信長御取懸け候。平泉寺の玉泉坊番手として楯籠り候。是も御託言申し罷退く」(角川文庫)とある。朝倉義景や丁野城の歴史を書くとき、その典拠は、①②③のいずれかを参考にしておくことになる。『福井県史』『勝山市史』



玉泉坊が立て籠もった丁野城。麓にはJR北陸本線と北陸自動車道が走る。

松原信之著『越前朝倉氏の研究』はおもに①『朝倉始末記』を使用している。

『朝倉始末記』によれば、宝光院が活躍したことになり、『越州軍記』によれば、宝光院と玉泉坊の二人が協力して合戦し、玉泉坊が信長からの書簡を受け取ったことになる。『信長公記』では、玉泉坊のみが重要な役割を果たしたことになる。②③では、虎御前山に陣を構える織田信長軍の木下藤吉郎(豊臣秀吉)が策略を企て、城に立て籠もる玉泉坊の命を引き替えてに懐柔し、義景滅亡後の恩賞を約束したのではないだろうか。玉泉坊はのちに「山総務」という一行朱印を織田信長から手に入れ、このことから、宝光院と対立する。

勝山市文化財保護委員 佐野光臣

## 人口の動き

	7月末現在	自然動態		社会動態		8月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,886人	11	14	24	25	12,882人	- 4人
女	14,101人	6	9	18	27	14,089人	- 12人
合計	26,987人	17	23	42	52	26,971人	- 16人
世帯数	8,369世帯					8,364世帯	- 5世帯

### 編集後記

▼とても暑かった夏も終わり、9月に入り、朝夕はめっきり涼しくのぎやすくなりました。▼先月行われました「勝ち山夏物語」は、盛り沢山のイベントが企画され、期間中、前年を遥かに上回る1万5千人余りのかたがたが夏のひと時を楽しみました。▼そして秋、恐竜クロカンマラソン、うまいもん祭、運動会、文化祭など、たくさんの行事で再び勝山が賑やかになります。一つでも多くの行事に参加して、賑やかな輪を広げ元気な勝山を創りましょう。

## 交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成20年8月末	前年比
総件数	308件	-32
人身事故(うち高齢者)	41件(7)	-17(-11)
死者(うち高齢者)	2人(1)	-1(-1)
傷者	42人	-24
物損事故	267件	-15

## 9月の納税

国民健康保険税▶2期  
 納期限▶9月30日(火)  
 口座振替▶9月26日(金)

広告  
 広告のお申し込みは  
 秘書・広報課まで